

事業名	~地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダーの配置~(教育委員会事務局経費)		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		540		360			180	
目 的 目 標	警察官OB等防犯の専門家をスクールガードリーダーとして配置し、子どもの登下校時の安全確保のための指導、助言などを行う。		(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
				府	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金	360				
事業概要	<p>スクールガード・リーダーを2名配置 宮津市域を南ブロック(宮津小、上宮津小、栗田小、由良小)と北部ブロック(吉津小、府中小、日置小、養老小)に分け、それぞれスクールガード・リーダーを配置する。                      スクールガード・リーダー2名                      賃金 532千円 (活動日50日)                      報償費 6千円 (講習会講師謝金)                      需用費 2千円 (活動費)</p> <p>スクールガード・リーダーの活動内容 各小学校(校内、学校周辺及び校区)を定期的に巡回し、スクールガード(学校安全ボランティア等)に対するそれぞれの学校の状況に応じた専門的な視点からの指導・助言を行う。 また、学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガード(学校安全ボランティア)を養成するための講習会を開催する。</p> <p>市内のスクールガードの主な活動状況 全小学校区でスクールガード(子ども・地域安全見守り隊)体制は整備済。 また、宮津小学校区、上宮津小学校区、栗田小学校区、吉津小学校区、日置小学校区では、青色防犯パトロールを実施。                      スクールガード数 12団体 1,207名(平成23年9月末現在)</p>		背景・経緯	平成21年度までは、京都府事業としてスクールガード・リーダーが配置されていたが、平成22年度以降は、市町村主体での事業体制となった。このため、本市においても平成24年度から事業の取組を行うもの。						
			期待される効果	地域ぐるみで効率的・継続的な子どもの安全確保に向けた体制整備が確立できる。						
			【みやづビジョン2011以外の計画】				年度策定		計	年度まで
							年度策定		画	年度まで
							年度策定		期	年度まで
			【市民参加の状況】				スクールガードの一員として、学校安全体制に参加。			
【先進性】				スクールガード・リーダーの配置は、府内では丹後地域のみ。						
担当室・係		教育委員会事務局総括室 学校教育係 TEL 45-1641								